

令和 4 年度都道府県審判委員長会議及び審判研修会

【 参 考 資 料 】

## 審判への道 -審判資格取得方法-

資格	大会カテゴリー						資格取得のためには	試験	年齢制限	費用	問い合わせ先
	小	中	高	大学	Vリーグ	IF・AF大会					
市区町村協会・ 連盟公認審判員	○	△	△	×	×	×	各市区町村協会、連盟主催の 審判講習会を受講	講習会の受講のみの場合が殆ど	なし	主催団体により異なる	各都道府県 バレーボール協会
都道府県協会 公認審判員	○	○	△	×	×	×	★都道府県により実施状況が異なるので 確認が必要 (東京都は都公認資格がないので C級から受講、など)	試験の形態は都道府県協会によって 異なるので要確認	なし	主催団体により異なる	各都道府県 バレーボール協会
日本バレーボール協会 公認C級審判員	○	○	○	△	×	×	★各都道府県協会単位で実施 ★6人制、9人制、ビーチの中の一つで受講できる	試験の形態は都道府県協会によって異なるので要確認 〔筆記のみであれば筆記+実技の協会もある〕  ※ビーチについては、6月に開催される 「全国ビーチ講習会」時のみ取得可能	18歳以上	受験料 3千円～5千円程度 ワッペンなど3千円	各都道府県 バレーボール協会
日本バレーボール協会 公認B級審判員	○	○	○	○	×	×	★各都道府県協会単位で実施 ★ビーチC級も6人制または9人制のB級試験を受講し、合格後ビーチB級と認定される	試験の形態は都道府県協会によって異なるので要確認 〔原則的には筆記+実技で実施〕	18歳以上	受験料 3千円～5千円程度 ワッペンなど3千円	各都道府県 バレーボール協会
日本バレーボール協会 公認A級審判員	○	○	○	○	△	×	★JVA審判規則委員会主催の 講習会でのみ取得可能 ★4泊5日：8月に大阪にて実施	★都道府県協会の推薦を受け、2年に一度実施される 「A級審判員資格取得講習会〔A級審査会〕」を受講 ★極めて優秀であればA級(任期4年)、 優秀者はA級候補(任期2年)に認定 ★A級候補からA級への昇任は、ブロック大会以上の 大会での実績(要確認)で審査される	20歳以上、 原則的に40歳 以下	資料代として5千円 合格後、ワッペン代として 3千円～5千円 (4泊5日の宿泊代等は 自費負担)	各都道府県 バレーボール協会
国際バレーボール連盟 公認審判員候補	○	○	○	○	○	○	★年に5回程度、世界各国でIRCC (International RefereeCandidate Course)が 開催され、それらのコースの1つを受講	★各ブロックからの推薦を受け、JVA審判規則委員会が 開催する「I(アイ)スクール研修会」に参加 ★2年以上のスクール活動及び英語力検査 (口頭試問+日常会話+競技規則の理解等)に合格後、 JVAからFIVBに推薦される	40歳以下	参加する開催国により異なる(渡航費・宿泊費・受講料等すべて自己負担)	日本バレーボール協会 審判規則委員会
国際バレーボール連盟 公認審判員	○	○	○	○	○	○	★国際審判員候補資格取得が必須条件となる	★国際審判員候補を経て、FIVB公認の大陸大会・ 世界大会において主審3試合以上の公式記録用紙を提出 ★日本の国際審判員定員(20名)の枠内で昇任	40歳以下	参加する開催国により異なる(渡航費・宿泊費・受講料等すべて自己負担)	日本バレーボール協会 審判規則委員会

※△印は、各大会にて上級審判員の多い場合は、「副審」、「記録員」として割り当てられることが多いことを示す。

## 都道府県小連の審判資格取得状況について

小連	審判資格状況について	県大会等の運営について
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず、北海道級→JVA公認C級へと取得、育成している。</li> <li>・各地区協会（24地区）で北海道級審判取得講習会を実施している。</li> <li>・小連主催で審判資格取得講習会は、現在行なっていない。</li> </ul> <p>以前北海道で日小連3次講習会を行なった際、JVA公認C級審判員資格取得のため北海道協会審判委員会委員長に経緯を説明し、特別に了解を得ました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本小学生大会予選会については、すべての試合を北海道協会派遣審判員（日B級以上）と開催地区協会審判員、地区小連派遣審判員（日B級以上）が担当する。</li> </ul>
青森県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小連公認資格あり、毎年5月に資格取得の講習会を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会、県大会ともに帯同審判</li> <li>・県大会準決勝以上はJVA公認</li> </ul>
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公認資格、小連公認資格の双方あり、毎年5月に資格取得の講習会を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会予選リーグは帯同審判</li> <li>・準決勝以上はJVA公認</li> </ul>
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公認資格あり、小学生バレー関係者にはその資格を取得してもらい、帯同審判として大会に協力してもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会・県大会ともに帯同審判</li> <li>・県大会準決勝以上は各地区派遣審判</li> </ul>
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公認資格あり、小学生バレー関係者にはその資格を取得してもらい、帯同審判として大会に協力してもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会・県大会ともに帯同審判</li> <li>・県大会は、主審はJVA公認、副審は帯同審判</li> <li>・準決勝以上は主・副審ともにJVA公認</li> </ul>
山形県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公認資格あり、小学生バレー関係者にはその資格を取得してもらい、帯同審判として大会に協力してもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会は各地区派遣審判</li> <li>・全日本小学生大会は各地区派遣審判に加え、県協会からも派遣あり</li> </ul>
福島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公認なし、JVA公認B級、C級の資格取得をしてもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会準決勝以上はJVA公認審判</li> </ul>
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず県公認⇒JVA公認C級へと取得、育成している</li> </ul>	
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVA公認C級から、県協会資格なし</li> </ul>	
群馬県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小連審判員資格あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会の準決勝・決勝戦の主審・副審は公認審判員で行う</li> </ul>
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVA公認C級から（県協会主催：隔年実施）</li> </ul>	
千葉県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVA公認C級から</li> </ul>	
東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVA公認C級から</li> </ul>	
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVA公認C級から</li> </ul>	
山梨県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県小連資格あり、JVA公認は県協会（年1回）が行う</li> </ul>	
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JVA公認C級の資格取得講習会は年3、4回。※小連公認はなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より、C級資格取得に向けての講習会を実施している</li> <li>・なかなか更新してもらえないのが実情</li> <li>・帯同審判員制度はあるが、県大会に関しては割り当てをしていない</li> <li>・県大会は、県協会の派遣審判員を割り当てゲーム運営を行っている</li> </ul>

富山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JVA公認C級資格取得講習会を年3回開催し、資格認定は県協会が行う（うち小連主催は、年1回、毎年2月に開催）※小連公認ない</li> <li>・ 2月の講習会は小学生をモデルチームとして実技講習会、筆記試験にて合否判定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選手の保護者の受講が多く、子どもの卒業とともに小連を去って行かれるのが現状。</li> <li>・ 帯同審判員制を取り入れており、資格はC級以上</li> <li>・ 県大会では準々決勝まで帯同審判員でゲーム運営(主副)</li> <li>・ 準決勝、決勝は県小連の派遣審判員で運営</li> <li>・ コロナ以前は、県大会1回戦から派遣審判員を主審に割り当て、副審・記録を帯同審判員に割り当てていた</li> </ul>
石川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JVA公認C級資格取得講習会（年1、2回）に実施、資格認定は県協会が行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前は小連だけのワッペンを授与していた（詳細は未確認 現在も一部の方が使用している）</li> <li>・ 基本的にチームから主・副審を出す。（「帯同審判」という名前はない）</li> <li>・ 資格は特になし</li> <li>・ 県大会上部では、県小連の派遣審判員で主・副・記録を割り当てる</li> </ul>
福井県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小連公認資格なし、各市郡連盟の審判委員長による審査委員会が年2回開催され、承認されればJVA公認C級の資格が得られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区予選、県大会ともに、帯同審判員でゲーム運営を行う</li> <li>・ ベスト8以上は、県小連の派遣審判員で主・副・記録を行っている</li> </ul>
長野県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県協会主催でJVA公認C級資格取得審査会を実施（年1回：筆記＋実技）、翌年の伝達講習会で認定される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小連主催で、C級資格取得に向けての研修会を年3～5回開催している</li> <li>・ 小連から一般の大会で活躍されている方も多い</li> <li>・ コロナ以前は、県大会は帯同審判員と派遣審判員でゲーム運営</li> <li>・ 現在、各チーム帯同審判員を2名用意してもらい、決勝までを運営</li> <li>・ できるだけC級以上の資格としている</li> </ul>
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県公認の資格あり、必ず県協会公認⇒JVA公認C級へと取得、育成している</li> </ul>	
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県公認資格あり、JVA公認C級またはB級の資格取得講習会（年1回）を行う。また興味がある高校生は、聴講生として受講可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県大会および地区予選の記録員は、小連主催の地区審判講習会に受講した保護者を含むチーム関係者（大人）や県公認資格保有者が行う</li> </ul>
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県協会主催の資格取得講習会（年1回）あり</li> </ul>	
三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JVA公認C級の認定は小連で行い、県協会に報告。なお、活動実績や審判技術・技量を判断して、県協会主催のB級資格所得講習会（年1回）にも推薦している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各支部で審判講習会を実施し、C級取得を目指して育成</li> <li>・ 県大会の主審はJVA公認（C級以上）が行い、準々決勝以上の副審は公認、準々決勝以下の試合までは、チームが副審、記録、ラインズマン、点示を担当する</li> </ul>
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小連公認あり。</li> </ul>	

京都府	・ JVA公認C級から	
大阪府	・ JVA公認C級から	
兵庫県	・ JVA公認C級から	
奈良県	・ JVA公認C級から	
和歌山県	・ JVA公認C級から	
鳥取県	・ 小連独自の資格はない	・ 帯同審判にしている
島根県	・ 県協会独自に、C級以前の資格を設けている。	・ 本年度から帯同審判にしている。
岡山県	・ JVA公認C級から	・ 帯同を原則に、準決勝は審判部で
広島県	・ 小連独自の資格はない	・ 帯同審判には、副審に入ってもらっている。 ・ 準決勝、決勝は、審判委員会が担当している。
山口県	・ JVA公認C級から	・ C級以上の資格の帯同審判にしている
徳島県	・ 小連独自の資格はない	・ ベスト8位と以上は本部、それ以外は帯同（資格がなくてもよい）
香川県	・ 県公認審判員の資格があり、その後C級へ ※小連だけでなく、すべてのカテゴリーがここからスタート	・ 大会により、派遣（フリー）が吹く場合と帯同審判とする場合がある
愛媛県	・ 独自の資格は設けていない。	・ 準々決勝までは帯同審判、準決勝からは審判委員が吹く
高知県	・ 独自の資格は設けていない。	・ すべての大会で、帯同審判を活用している。
福岡県	・ 2年に1度C級取得講習会、B級取得講習会が開催。	・ 県大会、初日、主審は各チーム審判有資格者で年度更新手続き完了者、（県内審判伝達会参加、MRS審判登録済み）で帯同（レフリーウェア着用必須）、 ・ 大会最終日は、県内6地区からの派遣審判員（年度資格更新手続き完了者）で行っています。 ※帯同、派遣どちらもJVA公認C級、B級の縛りはありません。派遣審判については、各地区より推薦された資格者を派遣頂くこととしています。
佐賀県	・ 県協会主催の資格取得講習会（年1回）あり ・ JVA公認C級から	・ 県予選大会は帯同審判 ・ 県決勝大会は各地区からの派遣審判 ※審判資格の有無は問わない。
長崎県	・ 県協会主催の資格取得講習会（年1回）あり ・ JVA公認C級から	・ 地区予選大会は帯同審判 ・ 決勝大会は各地区からの派遣審判 ※公認審判資格を持っている者。
熊本県	・ 県協会主催の資格取得講習会は2年に1回開催、JVA公認C級からではあるが、一発B級もあり得る	・ 大会最終日（準々決勝・準決勝・決勝）は派遣審判員。それまでは、チーム帯同。チーム帯同の審判員も資格を取得してもらうように促している。

大分県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県協会認定の審判資格あり（C級候補）</li> <li>・JVA公認C級認定は、年度初め（毎年）に開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会、県大会共に県協会認定のC級候補以上</li> <li>・全国予選の準決勝以上は県小連審判部のC級以上</li> </ul>
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県小連認定の審判資格なし</li> <li>・県協会認定の審判資格あり（県内大会に限る）</li> <li>・県協会主催の資格取得講習会（2年に1回）あり、更新講習会も兼ねる</li> <li>・県協会主催の資格取得講習会（2年に1回）が行われないう年に、新規取得者を対象にした講習会を県内3か所で行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区大会は帯同審判</li> <li>・県大会は各地区からの派遣審判 ※予選は主審のみ、決勝は主審、副審とも派遣で行う。 ※審判資格の有無は問わない。</li> </ul>
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県小連認定の審判資格あり</li> <li>・県協会認定の審判資格なし</li> <li>・県協会主催の資格取得講習会（2年に1回）あり JVA公認C級から</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区予選大会は帯同審判</li> <li>・決勝大会は実行委員会から JVA公認C級以上の者へ委嘱。ただし、各チームにも帯同を求め、場合によっては副審をしてもらうこともある。</li> </ul>
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年4月頃審判資格取得講習会有り、JVA公認C級から</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会予選は、チーム帯同審判員</li> <li>・県大会本選は、公認審判員もしくはチーム指導者</li> <li>・県大会決勝トーナメントは、地区派遣、公認審判B級</li> </ul>

各都道府県小学生バレーボール連盟

会 長 各 位  
理 事 長 各 位  
審 判 委 員 長 各 位

日本小学生バレーボール連盟

会 長 工 藤 憲  
理 事 長 大 内 賢 司  
審判委員長 石 井 雅 子

## 令和元年度 拡大ブロック審判研修会について

仲秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より日本小学生バレーボール連盟の運営にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、表記の研修会につきまして下記の通り開催いたします。公務ご多用の折りとは存じますが、貴連盟所属の審判員派遣につきましてご高配いただきますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 目 的      ① 各都道府県において指導的立場の審判員として研修を深め、A級審判員等の  
                  上級資格の取得を目指そうとしている者の育成を図る。  
                  ② 小学生大会の審判員として携わる者の技術の向上を図る。

2 主 催      日本小学生バレーボール連盟

3 主 管      日本小学生バレーボール連盟 審判委員会  
                  宮城県バレーボール協会  
                  宮城県小学生バレーボール連盟

4 日 程      令和元年11月30日（土）～12月1日（日）

#### ○11月30日（土）

受 付 開 始 時 刻	13:00
開 講 式	13:30
研 修 開 始	13:45 ※ 実技を中心とした研修（高校生チーム）
研 修 終 了	17:00

#### ○12月1日（日）

会 場 集 合	8:30
研 修 開 始	9:00 ※ 実技を中心とした研修（小学生チーム）
研 修 終 了	12:00
閉 講 式	12:15
解 散	12:30

5 講 師      日本小学生バレーボール連盟 審判委員会  
                  日本小学生バレーボール連盟 東北ブロック A級審判員

（裏面に続く）

- 6 内 容 小学生チームのゲームを行い、主審、副審、スコアラーの研修を行う。
- 7 対 象 (1) 将来においてA級審判員等の上級審判員へ目指す意欲のある審判員  
(2) 全国大会（応援審判員を含む）に派遣を希望する審判員  
(3) 各都道府県小学生バレーボール連盟で指導的役割を担える審判員  
(4) 各都道府県小学生バレーボール連盟に所属する審判員
- 8 準 備 会場施設とモデルチームは、開催地小連で準備する。
- 9 会 場 大和町総合体育館  
〔住 所〕宮城県黒川郡大和町宮床字松倉 92 / 〔電 話〕022-346-2179  
〔アクセス〕東北自動車道 大和 I C 降車後 約 10 分  
J R 仙台駅より 車で約 35 分 / J R 古川駅より 車で約 30 分  
(注 意) 直接電話でのお問い合わせや取り次ぎは、硬くお断りします。  
車で来られる方のナビ設定にご活用下さい。



- 10 申 込 別紙の申込書に必要事項をご記入のうえ、下記の宛先までメールまたは郵送にてお申込み下さい。なお、都道府県小学生バレーボール連盟様ごとで参加希望のとりまとめを行ってからお申込下さい。また、申込書にご記入いただいた個人情報に関しましては、研修会以外の目的で使用いたしません。

【メール】	ushikun.vbrefree@gmail.com
【郵送】	〒514-1125 三重県津市久居元町 2132-1 藤田和宣行
【締切】	<u>令和元年11月2日(土)(必着)</u>



- 11 宿 泊 宿泊ご希望の方は、別紙の宿泊申込書にご記入し、FAX またはメールで直接下記の宿泊斡旋委託業者にお申込下さい。  
【 宿泊斡旋委託業者 】  
名鉄観光サービス株式会社 東北営業本部 TEL 022-263-1371  
担当：植松 正樹 FAX 022-255-8774 / E-mail masaki.uematsu@mwt.co.jp
- 12 経 費 (1) 講師等に関する経費については、日本小学生バレーボール連盟審判委員会の負担とします。  
(2) 受講者の皆様については、各都道府県小学生バレーボール連盟あるいは各都道府県バレーボール協会でご配慮頂けますようお願い申し上げます。
- 13 その他 (1) ルールブック、笛、審判服、シューズ、筆記用具など【 各自ご持参下さい 】  
(2) 電車利用の方は申込書の交通手段に『電車』と記入し、仙台地下鉄 泉中央駅で下車して下さい。駅から会場までの所要時間は車で約 25 分かかりますので、宮城県小連の方が送迎対応いたします。  
なお、待合せに関する詳細は、後日ご連絡いたします。  
(3) 研修会 1 日目終了後、懇親会を予定しております。ご出席下さい。  
(会場： 宿泊ホテル周辺 / 会費： 4,000 円程度)  
※懇親会については、当日受付にてご案内いたします。

【 問い合わせ先 】 日本小学生バレーボール連盟  
審判委員会 主 事 藤 田 和 宣  
携 帯 090-2576-7855  
メール [ushikun.vbrefree@gmail.com](mailto:ushikun.vbrefree@gmail.com)

※各都道府県バレーボール協会理事長（専務理事）様および審判委員長様にもお渡し願います。

## ホームページの活用について

2022.4.16

日本小学生バレーボール連盟  
審判委員会委員 野村 朋範

### 1 ホームページの役割

日小連のホームページの役割（活用例）として、以下のことが考えられる。

#### ① 情報を得る

情報を得ることを目的にホームページを訪問することが一番多いと思われる。

- 指導者向け情報
- 選手・保護者向け情報
- 大会情報・結果

などの情報が一般的である。

#### ② 書式等のダウンロード

各種申込みをメールで行うことができるようになり、そのための書式をホームページよりダウンロードして使うようになっている。

#### ③ 問い合わせ

日小連に対する問い合わせ（体罰等の報告）等の窓口となっている。

### 2 審判委員会としてのホームページの活用について

現在、日小連のホームページ内で審判関係のものは「グリーンカード」について記載されている部分のみであるが、以下のような活用例が考えられる。

- ・「グリーンカード」についてはさらに「具体的な適用例」についての記載を求められているので、今後全国大会各都道府県予選大会と全国大会でのグリーンカードの適用例を取りまとめ、整理してホームページに掲載する。

### 3 その他

- ・これ以外に「審判員として、ホームページにどのような情報を求めるか」ということをグループディスカッション内で確認したい。「動画の活用」などの意見が出るかもしれないが、肖像権や動画の容量の関係で難しいことをあらかじめ伝えたい。

## グループディスカッションについて

グループ分けした小連審判委員長様と日小連審判委員会メンバーとで、課題に沿った意見交換し、意見集約の発表をしていただきます。

① 皆様のグループ分け設定ができましたらグループディスカッションを開始します。

（主事側で操作）

② グループメンバーと意見交換を始めて下さい。

③ 終了時間になりましたら、自動的に元に戻ります。

④ 発表

※発表者をグループで決めて下さい。後日、主事まで発表内容をメールで送って下さい。

### ≪グループ分けと審判委員会メンバー≫

- |              |   |       |
|--------------|---|-------|
| ① 北海道・東北ブロック | … | 藤木    |
| ② 関東ブロック     | … | 戸羽    |
| ③ 北信越ブロック    | … | 小坂    |
| ④ 東海・近畿ブロック  | … | 阿部    |
| ⑤ 中国・四国ブロック  | … | 及川    |
| ⑥ 九州ブロック     | … | 石井、野村 |

## 質 問 事 項

質問者：鎌田育夫（宮城）

- ・ 昨年の審判委員長会議において、「グリーンカードの具体的な適用例について今後とりまとめてHPに掲載し、全国共通で活用していく」ということでしたが、その後の進捗状況について教えてください。

質問者：飯塚雅文（埼玉）

- ・ 他の都道府県からの移籍選手の競技上および審判上の取り扱いのレクチャーをお願いします。また、試合中に起こりえる事象（サブスティチューション時に制限人数を超えて入ってしまったときの処置など）をつけてもらえると分かりやすいと思います。

質問者：小島輝久（静岡）

- ① ルール 4.2.4 では「セット間は、選手は自チームのフリーゾーン内でボールを使い、ウォームアップすることができる。」とされているが、監督やコーチがいわゆる球出しをすることは如何か。（ケースブック 1.12 においても監督やコーチがボールを使い選手のウォームアップを手伝うことは「許されない」とされている。）
- ② 感染症の流行時においては、試合開始時の握手を省略するなどの感染防止対策を各都道府県で工夫し実施していると推察されるが、ともすると、子供（選手）たちは相手チームに対し敬意を表する挨拶である意義が浸透しておらず、教育的観点からどのように指導されているか、具体的実践例などがありましたらご教示願いたい。

質問者：蔭山泰史（兵庫）

・ラリー中、監督が着席することになっている理由を教えてください【明確に答えたい  
ため、頻繁に尋ねられます】

令和3年5月 日

各都道府県審判委員長 様

日本小学生バレーボール連盟

審判委員長 石井 雅子

### グリーンカードの活用推進について（通知）

日本小学生バレーボール連盟では、フェアプレーや善い行いを賞賛し広げていくことを目的としたグリーンカードの提示を勧めてきました。今年度、これまで以上に活用し、バレーボールをとおした小学生の健全育成を推進するために、各都道府県において、以下の取組を進めていただきますようお願いいたします。

#### 1 これまでの提示例に基づいたグリーンカードの提示

##### 【自己申告】

- ・選手が自ら手を挙げてタッチネット、ボールコンタクトの申告をした。
- ・ライン際の判定で、主審が確認のため担当ラインジャッジと副審を呼んだ時、ボールデッド側の選手が「インでした」と伝えに来た。

##### 【判定後の挙手】

- ・タッチネット、ボールコンタクト等、判定に対し手を上げて素直に応じた。

##### 【試合中の礼儀・マナー・気遣い】

- ・隣のコートにボールが転がっていき、取ってくれた相手に「ありがとうございました」と大きな声でしっかりとお礼をした。
- ・隣のコート端まで転がったボールを全力で拾いに行き、全力で戻った後、相手に静かに転がして渡した。
- ・相手の顔面等にボールが当たった際に、歩み寄り謝った。
- ・ネットに懸けたボールがネット越しに相手選手の顔に当たり、相手の様子を気遣いお詫びした。
- ・ネット際で転倒した相手選手へ声をかけた。
- ・コート外までボールを追いかけて窓や壁などにぶつかりながらもプレーを続行した選手に、ボールデッド後、チーム選手がかけより声をかけた。

##### 【補助員の姿勢や態度】

- ・ラインズマン等コートオフィシャルの態度や動きがきびきびしてすばらしかった。
- ・ラリー中にコート内の選手が落としたハンドタオルを、ラインジャッジがすかさず拾った。

##### 【コート外での行動】

- ・トイレのスリッパを並べる、ごみを拾う等、会場の美化に貢献した。
- ・会場内で、誰に対しても気持ちのよい挨拶ができていた。

##### 【プレーの称賛】

- ・コート外に弾いたボールを最後まで一生懸命レシーブに行った。
- ・接戦となった好ゲームの試合終了時、両チームの健闘を称えカードを提示した。

##### 【控え選手の動き】

- ・チームメンバーのためにベンチまわりの仕事を一生懸命やっていた。
- ・TO、TTO 毎に一生懸命モップをかけていた。
- ・タイムアウト中に隣のコートから入ってきたボールをタイムアウト中のチーム控え選手が走って取りにいき、隣のコートまで渡しにいった。

※ 「きわどいケースでのラインジッジの的確なライン判定」などのスキル、「試合中の態度を注意された後、または注意される前の謝罪」などの行動改善についても、試合後にグリーンカードを提示し、賞賛することもある。これまでの提示例以外のことについても、審判員や大会役員が善い行いであると感じたことについては積極的に提示する。

## 2 グリーンカード活用推進のための取組

### 【目的や意義、具体例の周知】

- ・審判員、各チームにグリーンカードの使用目的について研修会等をとおしてしっかりと伝える。
- ・グリーンカードを提示する場面を具体的に示し、チーム関係者に周知する（本文書の印刷、配付等）。

### 【使用方法】

- ・県大会だけでなく地区大会等でも使用する。
- ・審判員だけではなく、大会役員にも持たせ、ゲーム以外の場面でも活用する。

### 【賞賛の方法】

- ・大会等でグリーンカードを提示された選手と事例を会場でアナウンスして紹介する。

### 【審判員同士の対応】

- ・試合後のレフェリーミーティングで、カードを出したケースを発表し共有する。
- ・グリーンカードを出した審判員を称賛することで、互いのモチベーションを高める。